

調達管理番号・案件名

24a00635\_インドネシア国における水素社会の推進に関する情報収集・確認調査(QCBS-ランプサム型)

質問と回答は以下のとおりです。

2024年10月10日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	カーボンフリーの水素・アンモニア、新エネルギー(水素・アンモニア)	グリーン水素・アンモニア以外に、CCSを活用したブルー水素・アンモニアも調査対象になるのでしょうか？	基本的にはグリーン水素・アンモニアが調査対象となります。
2	12	III. インドネシアにおける水素社会推進のための日本・インドネシア連携に関する検討 (2)新エネ推進のための日尼官民関係機関のプラットフォーム構築	インドネシアでの大規模フォーラム3回・中規模ワークショップ3回実施、日本での中小規模ワークショップ2回とあるが、既に決まっている・想定される実施時期があればご教示お願いいたします。	大規模フォーラム(インドネシア)については、第1回目は2025年1月下旬から2月上旬、第2回目は2025年5月下旬から6月上旬を想定しています。第3回目は未定です。中小規模ワークショップ(インドネシア、日本)については未定です。いずれも、実施時期については、調査開始後にインドネシア側関係者とも協議・調整の上、決定します。
3	12	III. インドネシアにおける水素社会推進のための日本・インドネシア連携に関する検討 (2)新エネ推進のための日尼官民関係機関のプラットフォーム構築	それぞれインドネシアの大規模・中規模、日本の中小規模でどの程度の人数の招聘を見込んでいるかご教示お願いいたします。	大規模フォーラム(インドネシア)はハイブリッド形式で対面50-70名程、中小規模ワークショップ(インドネシア、日本)は10-30名程を想定しています。会場については調査の中で関係者と協議・調整の上、決定します。
4	18	2. 業務実施上の条件 1)業務量の目途	約 41.63 月については「本邦研修(または本邦招へい)に関する業務 4.80 人月を含む(本経費は定額計上に含まれる)。なお、上記の業務人月には、事前業務も含まれます。」とありますが、4.8人月分は定額計上として見積上限額内には含めない理解でよいでしょうか。見積には4.8人月を除いた約36.83人月についてのみ含めるということでしょうか。	ご理解の通りです。本邦招へいに係る4.80人月は定額計上として別契約を締結します。
5	20	見積書作成にかかる留意事項	仕様書に特殊備人について記載がないですが、特殊備人費を見積に入れることは可能でしょうか？	特殊備人費の計上が必要であれば、上限額の範囲内で提案していただくことは可能です。

以上